

シリーズ
第1弾

ぱれっと30周年特別企画

いつもありがとう 感謝の気持ちを込めて…

～ぱれっととともに歩んだ仲間たち～

去る7月29日(日)、ぱれっとは30周年記念式典を無事終え、新たな出発点として歩み始めています。30年という歴史の背景にはいつもぱれっとを応援して下さるたくさんの方々がありました。今回より3回シリーズでお送りする『いつもありがとう 感謝の気持ちを込めて…』は、ぱれっとの30周年を記念し、長年ぱれっとに関わって下さる方々をご紹介します。今回は、ぱれっととともに歩んできた障害のある皆さんです。ぱれっとの思い出を振り返りながら、今、思うことや感じることを語って頂きました。

質問内容

- ①氏名 ②ぱれっととの関わり
- ③ぱれっとで成長したこと、出来るようになって良かったことは何ですか?
- ④ぱれっとで、大変だと感じたことやハプニングがありましたか?
- ⑤ぱれっとを通して叶えたい夢はありますか?(やってみたいこと、挑戦してみたいことなど)

たまり場ぱれっと 1983年設立

- ①小林 和彦さん★ ②24年
- ③みんなと会えることが嬉しい。ティーボールで最初は打てなかったけど、練習している内にだんだんヒットが打てるようになって、みんなから「やったね!」と言ってもらえて嬉しい。
- ④なし
- ⑤これからも今までと同じようにたまり場のみんなと仲良く遊びたい。



- ①渡辺 幹夫さん★ ②22年ぐらい
- ③*サンシャインダンス教室に行くとダンスが出来るようになった。
- ④ダンスをなかなか覚えられないこともあった。
- ⑤テントを張ってキャンプをしたい。



- ①大木戸 健次さん★ ②30年
- ③料理が出来るようになった。相馬さんが大学生の時、学際誘ってくれて“アルフィー”のライブを見られたことがよかった。
- ④ない。
- ⑤焼き粘土、陶芸がやってみたい。



おかし屋ぱれっと 1985年設立

- ①前田 哲さん★ ②25年
- ③お店に、外国の客さんが来たら「ハロー」と英語であいさつできる。たまり場の英会話教室で、たくさん教えてもらえてとても楽しい。
- ④大変なことはない。
- ⑤中学校の時の大好きだった先生に自分のカッコよく働いている姿を見てほしい。



- ①河合 真里さん★ ②25年
- ③初めはレーズンを切る時、一粒づつ切っていました。今はたくさんのレーズンをトントントンと早く切れます。職員に上手だと言われます。嬉しいです。

- ④販売で、テーブルにクッキーやケーキを並べるのが大変です。
- ⑤富士急ハイランドでジェットコースターに挑戦したい！！



①扇山 範久さん★ ②24年

- ③仕事を始めた頃は、仕事を休みたいと思うこともあった。でも、今は休みたくない。みんなが自分を認めてくれてるし、自分の為にも頑張りたいから。
- ④昔は生地を作る機械がなくて、全部手作りで大変だった。今は機械があるけど、作る量が多いから大変。でも、やりがいは今の方がある。
- ⑤職員みたいに電話で注文を受けてみたい。



スリランカ料理&BEER Palette
1991年設立

- ①佐藤 雅敏さん★ ②21年
- ③仕事を通じて、厳しさと楽しさを学びました。接客用語を毎日使うことで、正しい言葉の訓練になったように思っています。
- ④時間通りに仕事をするのと、洗い物、そしてお金のやりとりがあったので大変でした。特に混んだ時などは、一度にいろいろやらなければならなかったので大変でした。
- ⑤具体的なことははっきりしませんが、たくさんの人と会っていろいろなことをしたいです。



①大畑 和美さん★ ②21年

- ③長く働き続けられたことで、自分に自信がつき、それと仕事を続けていく中で、人間関係も作れるようになりました。そしてお金のやりとりが出来るようになったのは大きかったです。

- ④疲れていてもお客さんが来たら笑顔で働かなければならないこと。周りを気にせず働くのも大変でした。



- ⑤ずばり！70歳になっても働いていたい！

えびす・ぱれっとホーム
1993年設立

①鈴木 昭司さん★ ②15年

- ③ダンスに通えるようになって、様々な人に出会えて、自分の世界が広がったことです。

- ④目が見えにくくなってきたので、転んだりぶつかったりすることが増えたことです。



- ⑤これからも、ぱれっとホームに住みたいです。

①渡辺 麻美子さん★ ②19年

- ③お掃除や洗濯等、身の周りのことです。
- ④ありません。でも、今年の震災はとても怖くて落ち着けませんでした。今でも地震があると、とても怖くなります。

- ⑤たくさんの人たちと出会える、パソコンと英会話です。

